

1 基本情報

事業名称	第20回ひがしふれあい文化祭				
事業目的	区民が文化・芸術に触れる機会を創出し、区民間のコミュニティの輪を広げ、「人・世代がつながる住み続けたいまち」の推進の一助とする。文化の振興・発展と豊かな市民生活を醸成し、区民の親睦・連帯の推進を図る。				
事業概要	区民が制作した絵画、書、工芸品や写真等の展示を行う「作品展」及び区内の小学生が制作した絵画の展示を行う「小学生絵画展」の開催や、参加型のワークショップを実施する。また、地元高校の吹奏楽部・ダンス部によるステージやすずめ踊り、堺の歴史講演等を実施し、区民が文化・芸術に触れる機会を創出する。				
実施主体	東区ふれあい事業実行委員会 (各校区自治連合会長9名+東区長計10名)	実施場所	堺市立東文化会館	実施時期	令和7年12月14日(日)～15日(月)

2 設定指標

活動指標	来場者数		R4	R5	R6	R7
		目標	2,300	2,350	2,400	2,450
		実績	2,310	2,362	2,996	2,245
成果指標	市民意識調査における文化・芸術活動をしやすいまちだと感じている人の割合 (東区民回答分)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	40%
		実績	35%	36%	34%	集計中

3 事業評価

決算額 2,088,380 円

①妥当性	◎	②費用対効果	◎	⑤総合評価	◎	評価基準
区民が芸術・文化を気軽に体験・発表する機会を提供し、活動を支援することで、区民間の親睦、連帯が深まり、活気ある地域社会の形成に寄与しており、妥当性が高い事業である。		作品展示では一般作品のほか各小中学校等の出展、ステージでは高校の参加があり、当日はその家族や関係者など多くの集客を得た。運営は各校区から多数のボランティアの協力体制を確保し、費用対効果を踏まえた運営を行った。		本事業は、世代を問わず多くの区民が参加できる多彩な催しを実施したことにより、区民同士の交流や親睦を深め、連帯感の醸成に大きく寄与した。更に、校区自治連合会、関係団体、行政機関など多様な主体との連携により、地域のつながりを強化し、文化活動をはじめとしたコミュニティ活動の輪を広げる契機にもなり事業目的に沿った事業となった。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
文化祭の準備段階から当日の運営まで、校区自治連合会や警察、関係団体など多様な主体が連携し、効果的なイベント運営が図られた。		区民が芸術・文化を気軽に体験・発表する機会を提供し、区民同士のコミュニティ形成を促進した。また、多様な関係主体と連携して事業を実施したことで、地域とのつながりが強化され、魅力ある地域社会の共創につながった。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	次年度は東文化会館の工事により会場が変更となるため、再度催しを企画・検討する必要がある。	今後の方向性	継続
対応方針	会場変更に伴う事業内容について、実行委員会や地域と連携し企画検討を行い、区民の親睦および連帯の推進を図り、魅力ある事業となるよう取り組む。		